

29
島根たい しゃ ひの み さき せん
県道大社日御碕線

災害復旧だより

vol.

04

令和8年8月29日

現場見学会を開催しました！

令和8年8月29日、県道大社日御碕線道路災害復旧工事の現場見学会を開催し、22名(うち中学生以下3名)の皆さんにご参加いただきました。

まず、日御碕コミュニティセンターで、出雲県土整備事務所から事業の概要を、施工を担当する(株)中筋組から現在の工事の状況を説明しました。

その後、工事現場へ移動し、施工中の第2期工事の様子を見学していただきました。現場では、厳しい施工環境や、眼下に広がる急な施工斜面に驚きの声も。

参加者の皆さんは、普段なかなか見ることのできない工事現場の様子を、興味深そうに見学されていました。

今回の見学会は、実際に現場を見ていただくことで、復旧工事の内容や厳しい施工環境について、理解を深めていただく機会となりました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



日御碕コミュニティセンターでの工事概要説明



工事現場で図面による施工状況の説明



第2期施工の斜面上から施工範囲を見学

ご参加いただいた方の声

工期が延びると聞いたときは不安もありましたが、現場で強い風や危険な環境を体感し、工事が予定どおりに進められない日があることにも納得しました。

工事に携わる皆さんの苦勞を知ることができ、見学に参加して本当に良かったです。

地元で被災当時は大変困っていたこともあり、復旧工事には以前から関心がありました。

改めて大変な工事だと感じました。

大雨によって道路が大きく崩れている様子に驚きました。崩れた場所を初めて間近で見ることができて良かったです。

Topics 災害復旧工事の施工状況と今後の見通し

一日も早い復旧を目指して工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

施工状況写真(令和8年7月29日)



現道の上部斜面を復旧する第1期工事は、令和7年1月に完了し、引き続き第2期工事を進めています。

第2期工事では、厳しい施工環境に加え、追加の調査によって、地盤の状態が当初の想定よりも悪いことが分かりました。そのため、安全に工事を進めるために、第2期工事の設計や工事方法を見直す必要があり、復旧工事全体の完了時期は当初の予定から1年程度延びる見込みです。

工事の完了までにはもう少しばかり時間がかかりますが、日御碕地区の皆さまの通行環境をできるだけ早く改善できるよう、令和9年度上半期には復旧中の道路本体に1車線を確保し、現在の仮設道路とあわせて利用することで、片側交互通行を解消する計画です。

垂直擁壁

垂直擁壁に透水性のある材料を採用し、道路内の浸透水を速やかに排出します。

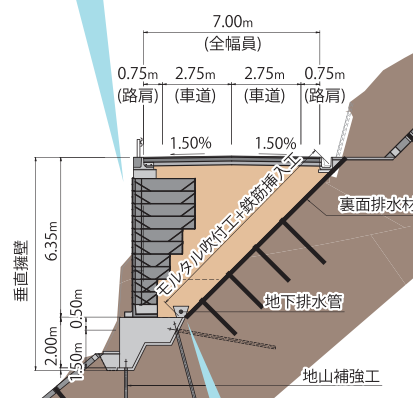


垂直擁壁(参考)



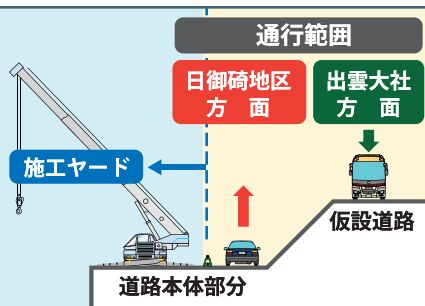
ポーラスコンクリート(参考)

第2工事横断面



裏面排水材、地下排水管

地山との境に裏面排水材を設置し、湧水を地下排水管に集め、効率良く外部に排出します。



災害復旧事業等の内容については、島根県出雲県土整備事務所のホームページに掲載しています。

https://www.pref.shimane.lg.jp/izumo_kendo/

問い合わせ先

島根県出雲県土整備事務所 土木工務第一部 土木工務第一課

☎0853-30-5641 Fax 0853-30-5675

